

事例の区分

事業区分	砂防・治山・森林整備事業
配慮概要	動植物の生息環境、伐根材及び木くずのチップ化利用

事業の概要

事業名	大苧沢ふるさと砂防事業
実施場所	宮城県本吉郡津山町横山字大苧沢
事業主体	宮城県本吉郡津山町役場（担当課：建設課）
実施期間	平成8年度～平成11年度
全体事業費	437,000千円
事業区間等	起点～終点（本吉郡津山町横山字大苧沢地内）
事業概要	<p>本事業は、動物、水生生物、淡水魚に配慮した溪流保護護岸整備を行うとともに、現地で発生した伐根材及び木くずをチップ化して管理用通路及び広場に敷均し、昆虫類の生息環境にも配慮した。</p> <p>・溪流保全護岸 L=740m（床固工7基、帯8基）</p>

環境配慮の内容

<p>動物（哺乳類）</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の移動経路を確保するため、河床路を6箇所設置したほか、既存の落葉樹を買い取り、立木のまま活用した。 <p>動物（鳥類）</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥の飛翔に影響を与えないように誘導植栽を施工した。 <p>動物（両生・は虫類）、水生生物</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地発生石材を活用した護岸を空積みとし、空隙を設けることによって生息し易い環境を確保した。 <p>淡水魚</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚道と一体型の落差工としたとともに、巨石空積み護岸を施工して魚巣を確保したほか、溪流法部に植栽を行い、生息環境の整備を行った。 <p>昆虫類</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地発生伐根材及び木くずをチップ化し管理用通路及び広場に敷均して再利用を図った。 また、上記のチップの敷均とともに既存樹木及び植栽を行ったことにより、昆虫類の生息環境を確保した。
--

環境配慮の結果

-

今後の留意事項等

<ul style="list-style-type: none"> 生態環境の変化を調査し、自然環境に戻るまでの機能を維持管理していく。 ただし、施設の管理運営費の財源がないため、施設管理者の負担がある。

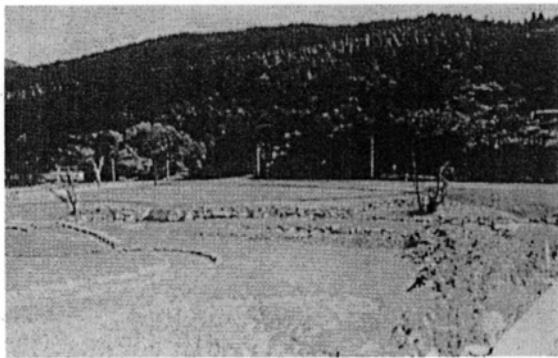
着工前写真



床固工施工中



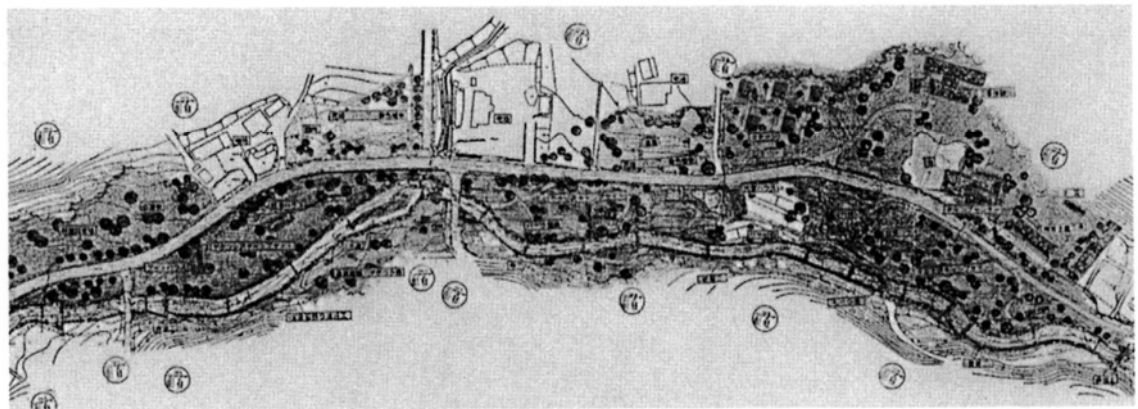
溪流庭園完成写真



完成写真



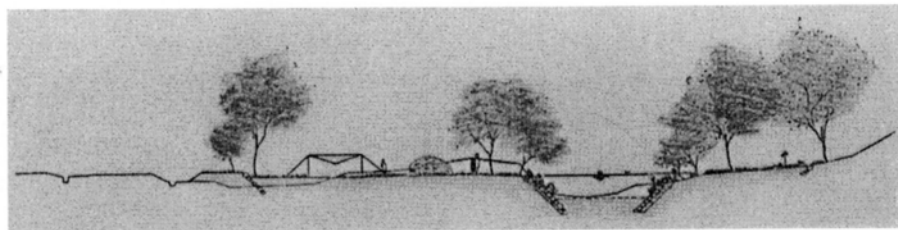
計画平面図



右岸

標準横断面図

左岸



出典

「公共事業環境配慮ガイド 事例No.31」 宮城県